

## ジブチ月例報告 (2025年10月)

在ジブチ日本国大使館

### 【内政】

- 10月1日、国民議会の本年第2回通常会期が開会し、アブドゥルカデル首相その他閣僚、外交団長等が出席した。ディレイタ国民議会議長は開会スピーチにおいて、憲法院改革を引き合いに出しつつ1992年憲法の改正の必要を訴え、また、パレスチナ人への連帯を示した。アブドゥルカデル首相は予算案説明に際して、「ビジョン・ジブチ2035」の目標と、港湾及び物流インフラを基盤とした地域ハブとしてのジブチの戦略的役割を強調した。
- 10月25日、野党UDJの臨時党会合が開催され、イレイヤUDJ党首は演説において、ゲレ大統領続投への支持を表明した。
- 10月26日、ジブチ国民議会本会議において、大統領選出馬時の年齢制限撤廃、憲法院の定員増員、女性器切除（FGM）禁止等を内容とする憲法改正案の第一回審議・採決が行われ、全会一致（65人）で採択された。

### 【外政】

- 10月6日、ジブチ外務・国際協力省は、アル・シャバーブによるモガディシュのゴドカ・ジラコウ拘置所を標的とした攻撃に対する非難声明を発表した。
- 10月9日、ジブチ外務・国際協力省は、ガザ地区の停戦合意成立を歓迎する声明を発表し、「カタール、エジプト、米国、トルコによる外交的努力」を称える、1967年の国境に基づく国家間解決を支持するという一貫した立場を強調した。
- 10月18日、ジブチを公式訪問中のソマリアのシェイク・ムスリム問題・ワクフ財産大臣は、ムーミン・ムスリム担当・ワクフ大臣と会談を行った。
- 10月26日、オマール外務・国際協力大臣は、カタールを公式訪問し、ジブチ・カタール合同委員会設立に関する覚書及び両国外務省間の政策協議に関する覚書に署名した。
- 10月27日、マリアム・デジタル経済・イノベーション担当大臣はハノイで開催された国連サイバー犯罪防止条約署名式に出席した。
- 10月30日、ソマリア和平を目的としたアルタ和平会議25周年記念式典が開催され、記念館除幕式には同会議を主導したゲレ大統領のほか、ハッサン・ソマリア大統領、ユスフAUC委員長、ウォックナーIGAD事務局長、スワン・ソマリア担当特別代表兼国連ソマリア暫定支援ミッション（UNTMISS）代表、マックスナド・アラブ連盟事務次長等が参加した。

### 【経済・開発】

- 10月6日、ゴンシャン（Gongshan Zhu）会長率いる中国のエネルギー会社GCLグループは、港湾・フリーゾーン庁を訪問した。同グループはエチオピアのオガデン地方の油田開発を発表し、ガス輸出のためのダメルジョグまでのパイプライン建設等について議論した。
- 10月8日、仏開発庁（AFD）と仏郵政銀行（La Banque Postale française）の技術支援を受けて進行中のジブチ郵政銀行（la Banque Postale de Djibouti）設立最終フェーズ開始記念式典が開催され、ラドワン通信・郵政・電気通信大臣が出席した。同プロジェクトは、金融包摂性の向上を目的としたもの。
- 10月9日及び10日、マリアム・デジタル経済・イノベーション担当大臣は、EUがブリュッセルにて開催した第二回 Global Gateway forumに参加した。同フォーラムは、世界的なデジタル・インフラ投資振興を目的としたもの。
- 10月10日、モハメド商業・観光大臣は、ナイロビで開催された第24回東・南部アフリカ共同市場（COMESA）サミットに参加した。同サミットにおいては21の加盟国間の経済協力強化、自由貿易圏構築の加速、持続的かつ包括的な成長の推進力としてのデジタル・イノベーションの促進等について議論が行われた。
- 10月14日、アブドゥルカデル首相は、アワレ農業大臣、ウルファ社会問題・連帯大臣とともにローマで開催された世界食糧フォーラムに参加し、国際連合食糧農業機関（FAO）とオボック湾における水産資源活用プロジェクトに関するMOUに署名した。
- 10月17日～20日、イリヤス経済・財政大臣は、ワシントンで開催された世銀・IMFの年次総会に参加した。同大臣は、会合の合間に、シディ・アフリカ開発銀行（AfDB）総裁やファウジ・アラブ経済社会開発基金（FADES）総裁と会談した。
- 10月21及び22日、ジブチ・エチオピア・南スーダン・ウガンダを結ぶジブチ回廊管理局（DESSO回廊管理局）設立に関する最終合意に向け、閣僚級技術会議がジブチで開催された。
- 10月24日、港湾・フリーゾーン庁とサウジアラビア系企業レッドシー・ゲートウェイ・ターミナル（RSGT）は、タジュラ港の運営権を30年間RSGTに付与するコンセッション契約に署名した。

#### 【保健・衛生・社会】

- 10月2日、アミナ都市・都市計画・住宅大臣は、NGOカタール・チャリティとの間で、ダメルジョグ地区における社会住宅及びインフラ建設に関する覚書に署名した。

- 10月8日及び9日、ジブチ国家腐敗防止委員会（CNLC）のバドリア・ザカリア委員長は、ジッダで開催された中東・北アフリカ違法資産回収ネットワーク（ARRIN-MENA）の初年度総会に出席した。
- 10月12日、大阪・関西万博での優れた建築や展示のパビリオンに贈られる賞の表彰式において、ジブチはコモンズ、テーマ部門の銅賞を受賞した。
- 10月15日及び16日、オマール労働大臣（制度・社会保障担当）は、ドーハで開催された第6回イスラム協力機構（OIC）加盟国労働大臣会議に参加し、雇用政策や社会保障に関する知見共有を行った。
- 10月15日及び16日、ゲレ大統領後援の下、第1回アフリカ官報・公文書フォーラムが国立図書館・アーカイブで開催された。ゲレ大統領は演説の中で、ジブチにおける公文書のデジタルアーカイブ化の進展を紹介しつつ、アフリカ各国の代表団に対し、適切な法的・行政的データ管理を呼びかけた。
- 10月16日、ジブチ大学病院（CHU）とセネガルのシェイク・アンタ・ディオプ大学（UCAD）は、両機関間の医学教育と科学協力の強化を目的とした提携協定に署名した。これに基づき、今後5年間に50人のジブチ人医師がUCADにて研修を受ける予定。
- 10月20日、ナビル高等教育・研究大臣とブレソン駐ジブチ仏大使は、気候変動適応を専門とする新世代の研究者を育成・支援する気候変動適応博士課程同盟（ADAC）の第2次協定に署名した。
- 10月28日、国民社会保障基金（CNSS）の資金により建設されたアル・シファ病院の開館式が行われ、ゲレ大統領、アブドゥルカデル首相、オマール労働大臣等が出席した。

#### 【軍事・治安】

- 10月15日、ジブチ沿岸警備隊のワイス隊長は、ジブチを公式訪問したイエメン及びソマリランドの沿岸警備隊司令官らと会談した。

#### 【日本関係】

- 10月5日、大阪・関西万博のジブチ・ナショナルデーへの出席のため、モハメド商業・観光大臣率いるジブチ代表団が訪日した。一行のうちハディ港湾・フリーゾーン庁長官ほか同庁職員からなる代表団は、続いて10月7日～9日に神戸で開催された世界港湾会議に出席し、国際海運におけるジブチの戦略的重要性等について発表した。
- 10月18日、大河内新駐ジブチ日本大使がジブチに着任した。
- 10月21日、大河内大使は、信任状の真正な写しを手交するためにオマール外務・国際協力大臣を往訪し、意見交換を行った。

（了）